

第 156 回 STF 交流会報告(2025 年 4 月度)

1. 日時:2025 年 4 月 19 日(土)14:00~16:00
2. 場所:品川区立総合区民会館「きゅりあん」4階 第1グループ活動室
3. 参加者:20 名
4. 話題提供:【土から魂へ:細菌と長寿の繋がり】 庄子 房次 氏(会員)
自らが健康に心掛け、自然・無農薬栽培もしている経験からの以下の話は大変参加者の興味を引いた。
 - ・土壌から腸への栄養経路
 - ・植物化合物と疾患の調整
 - ・腸内細菌叢と免疫システム
 - ・界を越えた相互作用
 - ・治療の可能性質問:自然農法はどこまで可能か?
=> 耕し、そしてはびこる雑草を抜いて、それで畑を覆って水分を保持してあげる。
特別な肥料を与えることなしに、ある程度の水分と土壌細菌の作用で作物を育てることは可能であると思うが更に検討してみたい。
この後ヨーグルトについて有益な情報提供(多種類摂取が良い)もあり、活発な意見交換があった。
5. 交流広場:
今回は最近 STF に参加された伊達 陸宏さんからは自己紹介兼ねた活動報告。久しぶりに参加された黛 政男さんからは近況報告。10 年ほど前に会社を清算し、新たな会社を興して頑張っておられる木村 新次さんから近況報告があり、夫々の活躍に参加者から質問、意見が行き交い大変楽しい交流会となった。
特に木村 新次さんからは急激に進歩している生成 AI についてこれから世の中がどのようになるだろうかの話もあり、活発な意見交換が行われた。
6. 感想:
今回は庄子さんの話題提供から始まって、新たに会員になられた伊達さん、久しぶりに参加された黛さん、木村新次さんの話などそれぞれ興味深く聞き、活発な意見交換などもあって本来の交流会になったのではないかと思います。
伊達さんの話の中で次世代の子供達の為に「もの作り教室」にシルバー技術者が貢献できるのではないかと、とかエコ燃料&ソーラ発電によるハイブリッド電源車の応用、実用への応援ができるのではないかと、ボランティアとして今までの経験・能力を生かせる場があるのではないかとこの提言はこれからの STF を考えるうえで大変参考になった。

【報告者:山岸 任】



庄子さん紹介の <Re Life ローカルへ>土・泥から腸内細菌 伸びる子 遊んでこそ から



交流広場の模様